

令和4年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第2号（果樹）

令和4年6月13日発表（対象期間：令和4年6月13日～7月中旬）

●PCでアクセス

ひろしま病害虫情報	検索
-----------	----

掲載アドレス↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>

●スマホでアクセス

ひろしま病害虫情報

QRコードはこちら →



ホームページ
リニューアル!



お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

〒739-0151 東広島市八本松町原6869

電話：082-420-9662（直通）

※次回の予報発表は令和4年7月中旬ごろです。

1- (1)

かんきつ病害虫の現況と予報（概要）

病害虫名	現況	予報	防除上の注意事項
かいよう病	レモン：多 ネーブル： やや多	多	<ul style="list-style-type: none">●発生源となる罹病葉，枝は速やかに除去し，ほ場から持ち出しましょう。●降雨前の予防散布を徹底しましょう。●昨年度発病が見られたほ場や，新葉に発病が多いほ場では，銅剤による防除を早急に行いましょう。
そうか病	並	並	<ul style="list-style-type: none">●発病した葉や枝は伝染源となるためほ場から持ち出しましょう。●多発園では，幼果期にも防除を行いましょう。
ミカンハダニ	並	並	<ul style="list-style-type: none">●梅雨明け後の多発を予防するため，6月中下旬の梅雨明け前の晴れ間に高度精製マシン油乳剤を散布しましょう。
ヤノネカイガラムシ	並 (発生なし)	並	<ul style="list-style-type: none">●幼虫発生期である6月中下旬に防除を行いましょう。
アブラムシ類	やや少	やや少	<ul style="list-style-type: none">●発生が多い場合は，薬剤抵抗性に留意して，追加防除を行いましょう。
黒点病	-	-	<ul style="list-style-type: none">●伝染源となる枯枝は速やかに除去し，ほ場から持ち出しましょう。●気象予報に注意し，降雨前の予防散布を徹底しましょう。●追加防除は，防除後からの累積降雨量が250mmを超えるか，1か月经過したら実施しましょう。

①かいよう病	現況	レモン：多 ネーブル：やや多	予報	多
--------	----	-------------------	----	---

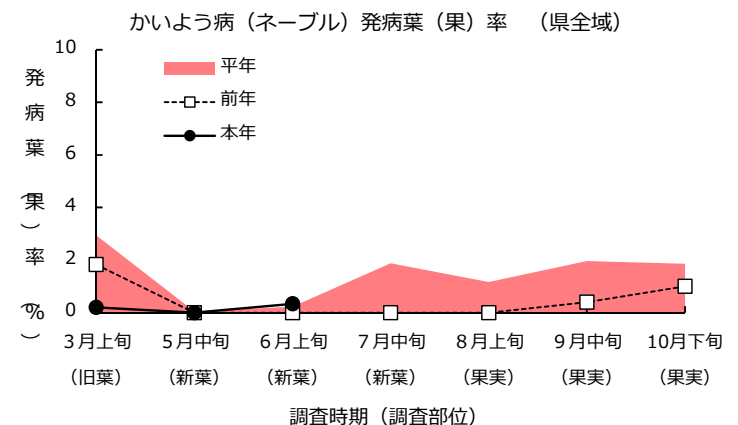
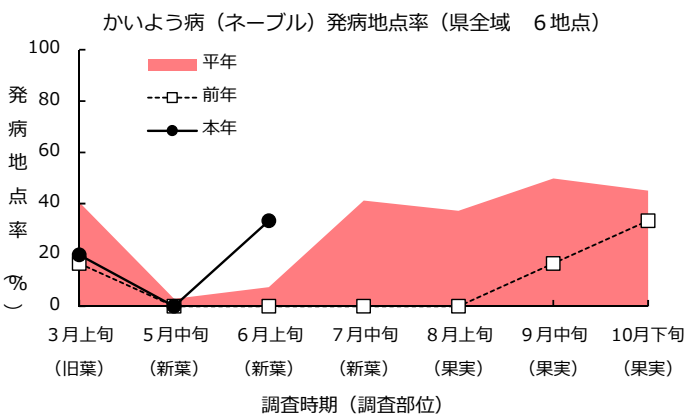
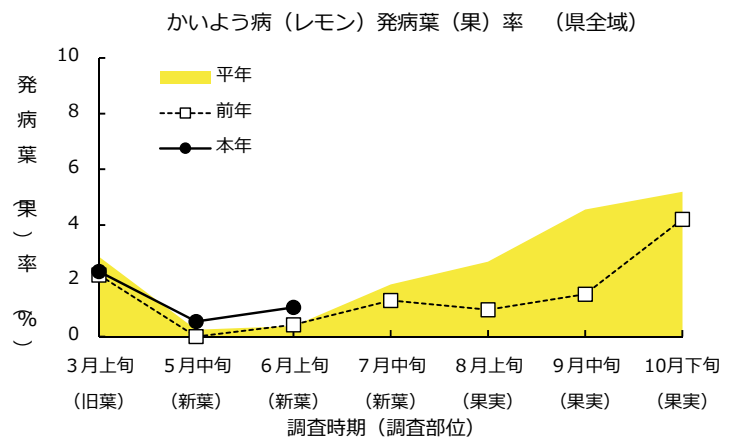
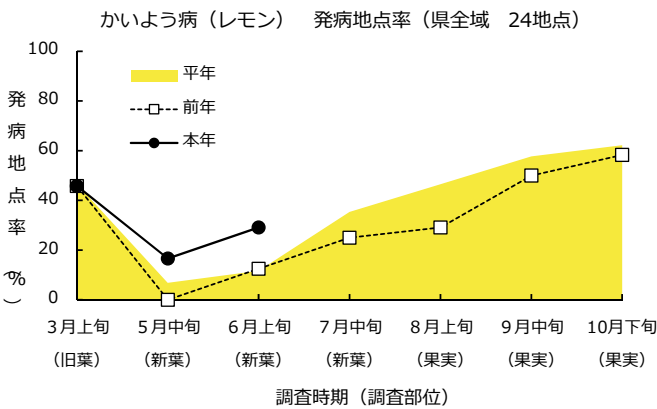
予報の根拠	<p>●巡回調査において、レモン新葉での発生は、発生地点率が29.2% (平年11.7%) で平年より高く、発病葉率は0.9% (平年0.3%) で平年よりやや高かった (+) です。</p> <p>●ネーブルでの発生は、発病地点率が平年よりやや高く (+) , 発病葉率は平年並 (±) でした。</p> <p>●向こう1か月の気温は平年並または高い確率がともに40% (±) , 降水量は平年並の確率が40%です (±) 。</p>
<p>(+) :多発要因 (±) :平年並 (-) :少発要因</p>	

【防除上の注意事項】

- 発病した葉や枝は伝染源となりますので樹上から除去し、ほ場外に持ち出しましょう。
- 巡回調査では、罹病した旧葉および新葉が見られましたので、速やかに樹上から除去するとともに基幹防除を徹底しましょう。
- 銅剤散布に当たっての注意事項
 - ・高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上空けます。
 - ・マンネブ剤, マンゼブ剤は混用せずに散布し, これらの剤の散布間隔は7日以上空けます。
 - ・無機銅剤 (コサイドなど) の散布を行う際には, クレフノン (希釈倍数:200倍) を加用します。
 - ・高温時の散布を行うと薬害を生じやすいので注意しましょう。



【巡回調査データ】



②ミカンハダニ	現況	並	予報	並
---------	----	---	----	---

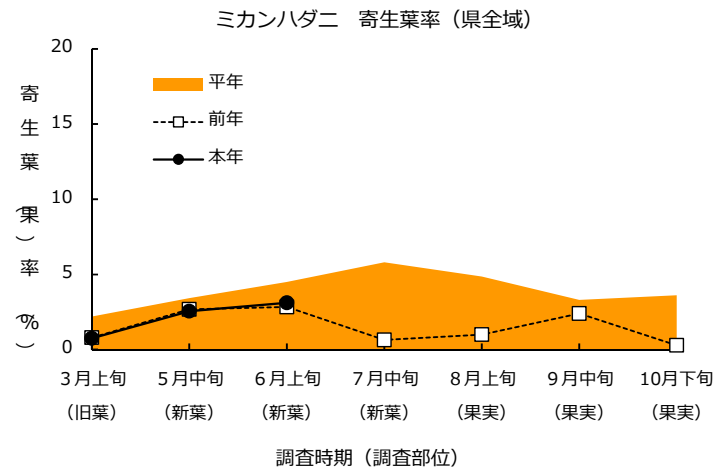
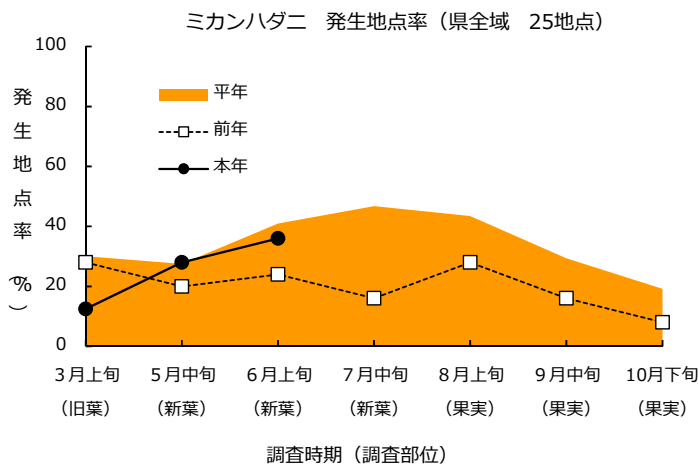
予報の根拠	●巡回調査において、ミカンハダニの発生は平年並（±）でした。
(+) :多発要因	●向こう1か月の気温は平年並または高い確率がともに40%（+），降水量は平年並の確率が40%です（±）。
(±) :平年並	
(-) :少発要因	



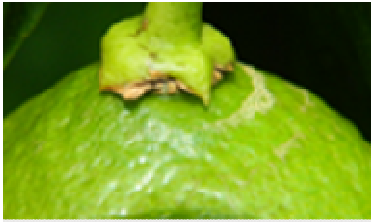
【防除上の注意事項】

- 梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布しましょう。
- 冬季または春季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場、前年発生が多かったほ場では発生に注意しましょう。
- マシン油乳剤散布に当たっての注意事項
 - ・7月以降の散布は果実の糖度低下につながるため、必ず6月末までに散布します。
 - ・摘果剤との近接散布により、旧葉が落葉する場合がありますため注意します。
 - ・高温時の散布は薬害を発生しやすいので、朝夕の涼しい時間帯に所定濃度範囲の低濃度で散布します。

【巡回調査データ】



①チャノキイロアザミウマ成虫発生予測



果梗部のリング状被害

チャノキイロアザミウマ
(拡大)

- チャノキイロアザミウマは、主に防風樹として利用されているイヌマキやサンゴジュなどが発生源となり、果樹園に飛来します。この虫に果皮を加害されると外観が著しく悪くなります。
 - 第2世代成虫の発生ピークを気温から予測すると、6月18日から20日となります。**防除適期は、この7日前からピーク当日**です。
- ※ 表1を参考に、発生ピーク予測日に合わせた防除を行ってください。

表1. チャノキイロアザミウマ成虫発生ピーク予測日

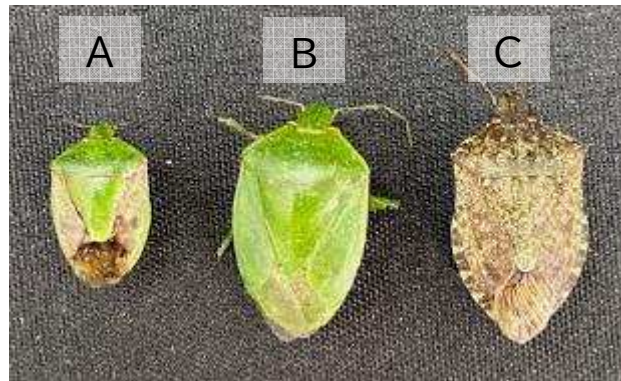
今後の気温	発生ピーク予測日		
	第2世代	第3世代	第4世代
平年より高い (+1℃)	6月18日	7月9日	7月27日
平年並	6月19日	7月11日	7月29日
平年より低い (-1℃)	6月20日	7月13日	8月1日

※生口島アメダスデータに基づく

②果樹カメムシ類



吸汁痕



A : チャバネアオカメムシ
B : ツヤアオカメムシ
C : クサギカメムシ

- 県内におけるチャバネアオカメムシの集合フェロモントラップへの累積誘殺数は、6月第1半旬の時点で、県内全域において「並」以下となっています。今後、気温の上昇に伴い飛来が増加する可能性もあるため、ほ場内の見回りを定期的に行い、飛来が認められた場合は速やかに防除を実施してください。

表2. 各調査地点におけるチャバネアオカメムシ累積誘殺数（5月第1～6月第1半旬） 単位：頭

設置地点	チャバネアオカメムシ累積誘殺数（頭）				
	本年	現況	平年 ^{※1}	多発年 ^{※2}	多発年以外 ^{※3}
東広島市安芸津町	20.6	少	76.8	82.0	74.6
福山市神辺町	6.0	やや少	25.6	45.8	16.9
世羅郡世羅町	47.8	並	57.4	84.9	49.6
庄原市東城町	6.0	並	7.3	10.4	5.8
庄原市高野町	5.0	並	27.1	52.3	16.3

※1 各調査地点の平年とは、過去10年の平均を示す

※2 多発年とは、注意報を発表した年（平成24, 26, 令和2年）の平均値を示す

※3 多発年以外とは、平成24年以降で、平成24, 26, 令和2年を除いた年の平均値を示す

③モモヒメヨコバイ

●令和3年10月広島県南部のモモで発生が確認されたモモヒメヨコバイ（10月13日に特殊報発表）は、2020年から2021年にかけて国内多数の地域で発生が確認されており、一気に蔓延している恐れがあります。

●モモ以外にも、ウメ、スモモ、ナシ、リンゴ、ポプラ等に寄生し、寄生された葉は白くカスリ状になり落葉します。

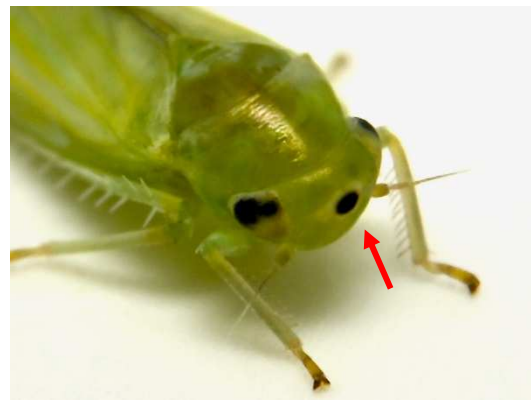
●詳しい生態はまだ不明ですが、越冬している可能性が高いので、気温が上がる春からの発生に注意してください。登録農薬はありませんが、慣行防除を徹底することで発生を防ぐことが可能です。



モモヒメヨコバイが寄生したモモ
(令和3年10月撮影)



モモヒメヨコバイの成虫



モモヒメヨコバイの特徴である
複眼の間の黒い点
(農研機構植物防疫研究部門提供)

3

向こう1か月の気象情報

【中国地方1か月予報】

(広島地方気象台6月9日発表, 6月11日から7月10日までの天候見通し)

● 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

● 向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%、降水量は、平年並の確率が40%、日照時間は、高い確率が40%です(図1)。

● 週別の気温は、1週目は低い確率が50%、2~4週目は平年並または高い確率ともに40%(図2)です。

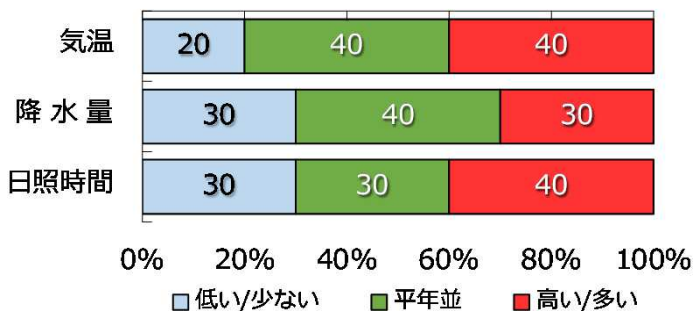


図1. 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)

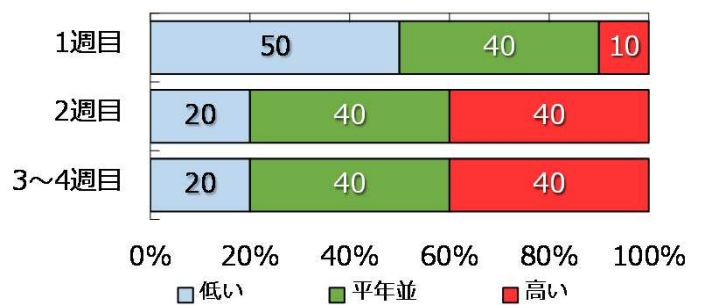


図2. 向こう1か月の気温経過の各階級の確率(%)

- 広島県では、農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。
- 令和4年度の農薬危害防止講習会を、以下の場所および日程で開催中です。
- いずれの会場も、午後1時30分～4時00分に開催します。
- なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、予定が変更となる場合があります。

年 月 日	時 間	場 所
令和4年6月14日（火）	午後1時30分～ 午後4時00分	三次市十日市南1-2-18 十日市きんさいセンター 1Fホール
令和4年6月21日（火）		呉市中通1-1-2 呉市きんろうプラザ 3F大ホール
令和4年6月28日（火）		福山市三吉町1丁目1-1 広島県福山庁舎 第1庁舎 4F141会議室
令和4年7月5日（火）		広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ 2F第一・第二研修室

※受付は、開始30分前からです。

※いずれの会場も、駐車場はありません。

※東広島会場は、6月7日（火）に実施しました。

【カンキツの地帯区分について】



西部：竹原市以西の沿岸島しょ部

東部：三原市以東の沿岸島しょ部

【現況・予報の区分について】

「現況」「予報」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分は、原則として過去10年間の同時期の調査結果の数値を発生が多かった順に並べ、相对比较しています。

- 「多」： 1番目（最多年）と同程度以上
- 「やや多」： 2～3番目と同程度
- 「並」： 4～7番目と同程度
- 「やや少」： 8～9番目と同程度
- 「少」： 10番目（最少年）と同程度以下